

第1章 正の数と負の数

1 正の数と負の数

p2

例1

- ①正の数 ②+ ③負の数 ④- ⑤自然数

解説

- ◆ 正の数…0より大きい数。+(プラス)の符号をつける
- ◆ 負の数…0より小さい数。-(マイナス)の符号をつける
- ◆ 0は正の数でも負の数でもない
- ◆ 自然数…正の整数

練習1

- ① $+5, +\frac{2}{3}, +0.06, +8$ ② $-1.6, -12, -\frac{8}{5}, -0.4, -1$
 ③ $+5, -12, 0, +8, -1$ ④ $+5, +8$

例2

- ① -1000円 ② +5kg

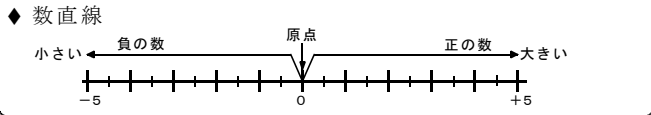
練習1

- ① -10点 ② +8km

例3

- A…-3 B…-1.5 C…+0.5 D…+4

解説

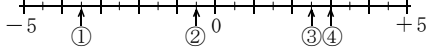


練習1

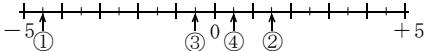
- A…-4 B…-0.5 C…+2.5 D…+3

p3

例4



練習



例5

- ①点数が+15点上がった ②体重が-5kg減少した

解説

+の符号を変え、言葉の意味も反対にする

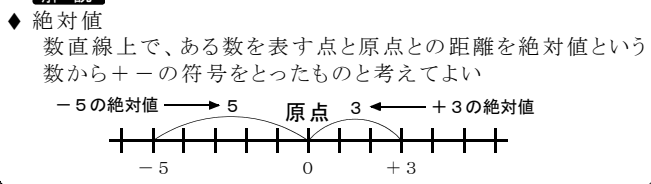
練習1

- ①+10年後 ②東へ+50m走る
 ③-800円の収入 ④-600円の値上げ

例6

- ①12 ②5 ③0 ④2.3

解説



練習1

- ①1.5 ②124 ③36.5 ④0

例7

- ①+5, -5 ②-3, -2, -1, 0, +1, +2, +3
 ③-4, -3, +3, +4

解説

- ②絶対値が3以下 → 絶対値が0, 1, 2, 3
 ③絶対値が2より大きく5より小さい → 絶対値が3, 4

練習1

- ①+12, -12
 ②-5, -4, -3, -2, -1, 0, +1, +2, +3, +4, +5
 ③-5, -4, -3, +3, +4, +5

解説

- ②絶対値が5以下 → 絶対値が0, 1, 2, 3, 4, 5
 ③絶対値が3以上で6より小さい → 絶対値が3, 4, 5

p4

例8

- ① $-2 < +3$ ② $-8 < -6$ ③ $-5 < -2 < +3$

解説

- ◆ 負の数では絶対値が大きいほうが小さい
- ◆ 3つ以上の数の大小は $○ < ○ < ○$ のように表す
 小 ← → 大

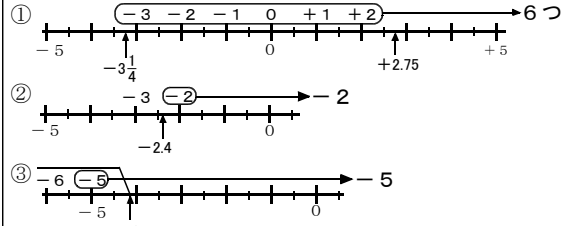
練習1

- ① $-5 < +2$ ② $-9 < -5$ ③ $+6 > -4$
 ④ $-5 < -2 < +4$ ⑤ $-6 < -3 < -1$ ⑥ $-3 < -1 < +5$

例9

- ①6つ ②-2 ③-5

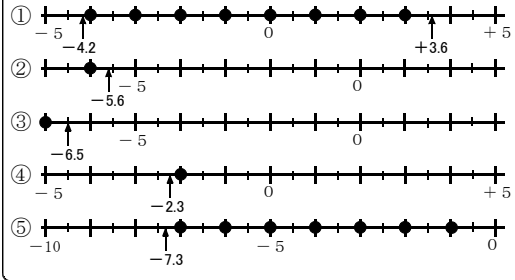
解説



練習1

- ①8つ ②-6 ③-7 ④-2 ⑤7つ

解説



例10

- ①E ②2cm
 ③11cm ④149cm

解説

- ②BがAより5cm低く、DがAより3cm低いので差は2cm
- ③EがAより6cm高く、BがAより5cm低いので、その差は11cm
- ④BはAより5cm低いから $154 - 5 = 149$ (cm)

練習1

- ①E ②50kg
 ③5kg ④16kg

解説

- ②AはCより2kg重いから $48 + 2 = 50$ (kg)
- ③DがCより4kg軽く、EがCより9kg軽いので、その差は5kg
- ④最も重いのはBで、Cより7kg重い。また最も軽いのはEで、Cより9kg軽い。その差は16kg